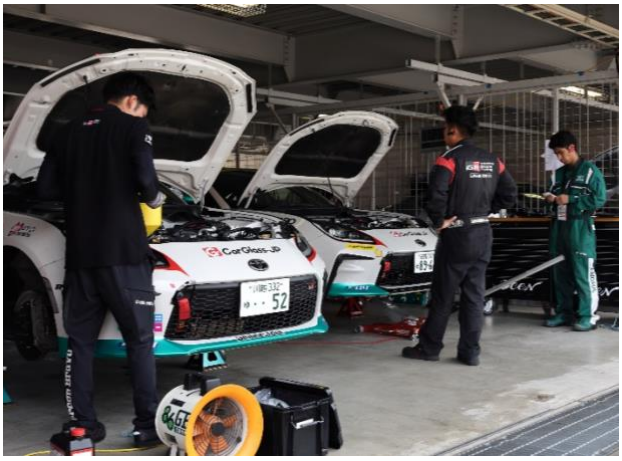
GR Garage 浦和美園

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

プロフェッショナルシリーズ第 5 戦
クラブマンシリーズ第 4 戦

8 月 24 日（土）～25 日（日）
十勝スピードウェイ（北海道更別村）



GR Garage 浦和美園 CAMP レポート

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup が十勝スピードウェイで行われました。プロフェッショナルシリーズ第 5 戦には吉田広樹選手が出場。吉田選手のサポートは GR Garage 浦和美園の大庭直人と、熊本県出身の吉田選手の縁で開幕から参加している、GR Garage 熊本中央の白石圭が行います。

土曜日の天候は晴。予選は 12 時 35 分から 15 分間で行われ、27 台が出走。吉田選手は 2 周目に 1 分 33 秒 526 のタイムをマークし、16 位につけました。前日の専有走行では 4 位につけていただけに吉田選手は悔しい表情。決勝ではポイントが獲得できるトップ 10 圏内まで挽回したいところです。

決勝は日曜日の 12 時 16 分より 14 周で行われ、吉田選手はイン側、16 番グリッドから順当なスタート。しかし、1 コーナー進入時の位置取りに苦戦したことで後続に抜かれ、オープニングラップを 19 位で終えます。その後、2 周目に上位のコースアウトにより 18 位に浮上すると、4 周目に一條拳吾選手(3 号車)を抜き 17 位にポジションアップ。ペースは良好で、8 周目に上位のコースアウトにより 16 位に浮上すると、9 周目には佐々木孝太選手(906 号車)を抜き、15 位まで順位を上げます。10 周目、上位の車両に火災が発生し、コース上にストップ。セーフティーカーが導入され、吉田選手は 14 位に浮上します。セーフティーカーは 13 周目の終わりに解除され、残り 1 周でレース再開。さらにポジションアップを目指してプッシュしますが、順位変動はなく 14 位でチェッカー。レース後、上位の選手にペナルティが科されたため、吉田選手の正式結果は 13 位となりました。

クラブマンシリーズ第 4 戦には 2022 年の Yaris Cup 東日本シリーズチャンピオン、大森和也選手が出場。GR Garage 浦和美園の渡邉颯人と三郷支店のアリアス セイジがサポートします。十勝スピードウェイは大森選手にとって Yaris Cup 時代に走り込んだコース。金曜日の専有走行では 5 位のタイムをマークしており、前戦表彰台の勢いにのって上位フィニッシュし、ランキングトップとのポイント差を縮めたいところです。

予選は土曜の 12 時 05 分から 15 分間で行われ、18 台が出走。大森選手は先頭でコースインし、タイヤに熱を入れてアタックに入ります。2 周目に 1 分 38 秒 801 をマークしますが、ミッションに不調が出たため、クーリング走行を挟んで 4 周目に再度アタック。1 回目のタイムを更新する 1 分 37 秒 871 をマークしますが、順位は 12 位。大森選手のクルマにはエンジン不調が発生しており、決勝出場が危ぶまれる状況です。チームは原因究明を試みますが、大会期間中はエンジン交換が許されないため、リタイアを選択。チャンピオンを目指す大森選手にとって非常に残念な結果となりました。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ
#160 GR Garage 浦和美園 BS GR86
吉田広樹選手　決勝 13 位
予選 16 位（1 分 33 秒 526）

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ
#522 GR Garage 浦和美園 CAMP GR86
大森和也選手　出走せず
予選 12 位（1 分 37 秒 871）

©2024 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

DRIVERS VOICE

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

吉田広樹選手

予選では前日から暑くなった気温にドライビングやマシンセットをアジャストしきれず、リアタイヤのグリップ不足に悩まされました。決勝はスタートの失敗はなかったものの、後ろの選手の伸びがよく、1 コーナーで狙った位置取りができなかったことでポジションを落としてしまいました。その後のペースはまわりよりも良かったですし、タイヤ特性の差を活かしてポジションアップもできたのでスタートの位置取り、さらに言うと予選で気温や路面の変化にアジャストできなかったことが悔やまれます。次戦はその点を修正して臨みたいと思います。

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

大森和也選手

予選の 1 回目のアタックでシフトがうまく入らなかった場所があり、そのロスを挽回しようとして無理をしてしまいました。クーリング走行を挟んで 2 回目のアタックをしましたが、最後にエンジン不調が発生してしまって……。決勝はピットスタートでもいいので出走できればファステストラップのポイントを狙うなど、できることはありますが、ルール上、エンジンの交換ができないため、リタイアになってしまい、非常に残念です。チャンピオン争いの可能性はまだ十分残っているのであきらめずに次戦で挽回できるようがんばります。

MECHANIC VOICE

三郷支店　アリアス　セイジ（522 号車担当）

Yaris Cup に続き、レース参加は 2 回目です。レースの流れは前回経験できた分、落ち着いて作業することができました。Yaris Cup に比べて足まわりなど調整する箇所が多くて大変でしたが、楽しんで取り組めました。ただ、担当した大森選手のマシンに予選でトラブルが出てしまい、決勝はリタイアになってしまったことが残念でなりません。

次戦予告　9 月 14 日～15 日　岡山国際サーキット（岡山県美作市）

PARTNERS

有限会社アイ・ディ・アイ
株式会社カーグラス・ＪＰ
K-one
埼群スリーボンド株式会社
ティーズ・ワークス
株式会社デンソーソリューション
東京キリンビバレッジサービス株式会社
トヨタモビリティパーツ株式会社
株式会社ブリヂストン
丸和工業株式会社
株式会社ミノルインターナショナル
Mechanix Wear LLC
株式会社リキテック
レカロ株式会社

SPECIAL THANKS

GR Garage 熊本中央

©2024 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.